

Staff Interview

vol.22 General Affairs and Human Resources Department



SHIMA SEIKI では、社員が活躍できる職場環境の整備を目指して、2017 年 4 月に企業内保育園「しまキッズランド」を開設しました。しまキッズランドでは、0 歳から就学前までの子どもを預かることができ、社員がより安心して業務に集中できる体制を整えています。今回は、しまキッズランドの業務を担当している、総務人事部の犬塚さんと山野さんに座談会形式でお話を伺いました。

Profile



総務人事部
犬塚さん



総務人事部
山野さん

しまキッズランド



保育の様子



生活発表会



遠足



ハロウィン



クリスマス会



月に一度の定例会



月に一度の定例会

Q：お二人の担当業務と、しまキッズランドへの関わりを教えてください。

▲：犬塚さん：私たちは給与厚生チームに所属しており、給与関連業務全般や、育児休業を取得される方や退職される方などの社員対応、食堂の管理など福利厚生業務を中心に担当しています。しまキッズランドの業務では、入園を希望される社員の方の対応や、委託業者さんと共に保育内容の検討、行政機関への申請手続き・監査対応などをおこなっています。

山野さん：しまキッズランドには広い園庭があり、お遊戯会や季節の行事も大切にしており、子どもの成長に寄り添った保育園でありたいと日々心がけています。月に一度の定例会では委託業者さんと園長先生と一緒に充実した取組みを考案しています。

Q：しまキッズランド立ち上げの経緯を伺っても良いですか？

▲：犬塚さん：かつて女性は結婚・出産を機に退職するような時代でしたが、その後少しづつ育児休業が浸透し、女性の育児休業取得率が 100%、保育園に子どもを預けて働くのが当然という状況になってきました。そんな中、島名誉会長が海外に出張したとき、ある会社にて親子で出勤している様子を見て心が惹かれたことから、わが社でも職場復帰を支援し、安心・快適に働く環境を整えようと、しまキッズランドを立ち上げることになりました。

保育園の設立が決まってから、企業内保育園についてリサーチを始め、委託業者さんの選定や建物の設計、運営方法の検討などを 2 年弱かけておこない、開園に至りました。それからもう 7 年になりますが、順調に運営を続けることができています。

Q：開設してから 7 年経って、変化はありますか？

▲：山野さん：現在は年長児まで在園しており、幅広いお子さんがいることで、園が賑やかになりました。今年は初めて卒園生を送り出すことができるので、とても感慨深いです。

Q：通常の総務人事部での業務とは違う仕事だと思いますが、やりがいを感じることはありますか？

▲：犬塚さん：社内に保育園を作ったということは、職場復帰して働く環境を整えたという会社の姿勢でもあると感じています。男女ともにキャリアアップしていける一助になっていること、その業務に携われていることにやりがいを感じます。後、保育園は会社の中でも少し異空間で、お迎えにきた社員の方が、仕事モードではなく親の顔になっているのを見ると、なんだかほっこります。

山野さん：お子さんにとって近くでお父さん、お母さんが頑張って働いているというのは、胸を張れることだと思います。社員の方にとって、一生のうちの限られた時間を、こうして子どもと一緒に通いながら過ごせることも、素敵な時間ですね。

Q：社内保育園だからできることや、工夫していることはありますか？

▲：山野さん：開園日や開園時間を会社の勤務時間に合わせ、できるだけ社員の方が利用しやすいようにしています。残業しても預かれる体制を整えていますし、荷物をなるべく減らす工夫もしています。普通、毎日着替えやおむつを各家庭で用意してもらうと思うのですが、しまキッズランドでは着替えを保育園で洗濯し、お布団も用意してくれるので、日々の持ち物はお便り帳くらいです。保育園に預けていると翌日の準備に時間をとられると思うのですが、そういった親の負担をなるべく省くようにしています。

Q：社内に保育園があるというのは、働くお母さん、お父さんにとって大変助かると思うのですが、社員からの反応はいかがですか？

▲：犬塚さん：先ほど挙げた荷物軽減や、祝日の全社稼働日等に開園していることは非常に好評です。また、送迎が便利だというお声もよく聞きますね。規模が小さいからこそ、一人ひとりに寄り添って大切に保育してくれると、満足度は高いようです。

山野さん：目は行き届いていると思いますよ。年少児からは、小学校入学に向けた教育にも取り組んでいます。独自の運動やマスクアクティビティなどの教育プログラムを取り入れています。